

病院資材・車の内装材向け 日本ポリマーの光触媒技術は、太陽光ほか蛍光灯や発光ダイオード(LED)など、波長570ナム(ナノタン)とアパタイト、鉄で光触媒効果の出にく

【名古屋】日本ポリマー(愛知県春日井市、竹田一哉社長、0568・333・2551)は、光触媒効果でウイルスや菌の活動を抑えるスプレーとパウダーを開発し、5月に発売する。産業技術総合研究所(産総研)の元研究者で同社技術顧問の坪田博史氏と共同開発した光触媒技術を応用した。病院や介護施設の資材、自動車の内装材向けに提案する。

(1面参照)

光触媒でウイルス・菌抑制 ポリマー本スプレー・パウダー投入

かつた紫外線の少ない室内や車内でも使用できる。

スプレータイプは遮光性の高い容器で携帯用から大容量まで展開する。パウダータイプはミネラルウォーター

などに溶かし、必要な分だけ水溶液を作ることができる。

光触媒効果の実験では、人体に有害なアセトアルデヒドを二酸化

炭素と水にまで酸化分解した。さらにトイレの脱臭効果のほか、黄色

有機物を不活性化する効果がある」(竹田社長)とし今後、新型コロナウイルスへの効果も検証していく方針。

